
桃ノ花ピラ

ma.na

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

桃ノ花ビラ

【Nコード】

N1897G

【作者名】

ma.na

【あらすじ】

小春日和の公園で新一を待つ哀。ふたりのほのぼの的日常です ■ 新哀です。正当派以外無理！な人はバックお願いします ■

ゆらゆら揺れる春の陽射しの下で彼を待っていた。

…出かけよう、なんて言っで。出てきてすぐ飛んでっちゃったじゃない。

怒ってなどいない。

そんな彼を好きになっ

受け止めてもらえたのだから。

…に、しても。

今までどんな危険な場所へでも私を『相棒』だの『助手』だの言っ

て連れて行ったくせに。

最近過保護ね。絶対に現場には連れていかないんだから。

彼はこの季節になると桃が咲き誇り人の多いこの公園に私を待たせることが多かった。

『ここなら景色もいいし人も多いから安全だろ？』なんて言っ

確かにそうだけ

こんな暖かい陽射しを浴びてたら貴方のことばかり考えてしまっわ。

太陽のような人。

もう長い時間を一緒に過ごしてるのに

ふと離れている時間『会いたい』と思ってしまう。

新一…早く帰ってきて。

たった数時間なのに。こんな気持ちになるなんて…

蘭さんはどんな思いで1年も待ってたんだろうか

その彼は『引き取ってくれてありがとう』だなんて。

あんな素敵な彼女からもらったしあわせ。大切にしなきゃ。

きっと来年もその先もここで待たされる。でも貴方は必ず来てくれ

るから

いくらでも待ち惚けしてあげるわ。

「わりい哀待たせた！」

急に後ろから抱きしめられる。

「貴方ね、言葉を発してから行動してくれない？驚くじゃない」
我ながら可愛い気のない台詞ね。

「わりいわりい。お前みたら先に動いちゃった。それにしてもちつちえーなあお前。」

「貴方だってついこの間まで同じ大きさだったじゃない。貴方が大きいのよ」

そう言って向き直り正面から彼の腕の中に納まる。

「珍しいな。いつもの哀なら『人前でそんなことしないで』って逃げるくせに」

「わかってるならやめてくれないかしら…？でも…」

私は新一の大きな腕にギュッと捕まった。

「今日は…もうちょっとこのままで…いていいかしら」

（後書き）

大塚愛ちゃんの曲から。こんな哀ちゃんも可愛くなって。

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n1897g/>

桃ノ花ビラ

2010年10月15日22時27分発行